問3 関係データベースの設計と操作に関する次の記述を読んで、設問1~4に答えよ。

あるスーパーマーケットでは、野菜、魚、肉の各売場に、来店客が食材名を入力するとその食材を使った料理名と4人分のレシピを表示し、印刷して持ち帰ることもできる端末を設置することにした。このシステムは、料理名、使用する食材、レシピなどを関係データベースで管理し、要件に応じて適切な情報を抽出する。

このシステムで使用する表は図1のとおりである。網掛けした項目は主キーを表す。

Jest	700	-
7.1	· 133	-75
77		

科里D:	料理名	作り方
2 0001 L	ビーフカレー	大きめに切った材料を、油を引いたなべで…
0002	ロールキャベツ	みじん切りにした玉ねぎをよくいため、…
	:	:

===	_	l wh
ш	r Ti	120

IMMH27		
海岛巴鲁	商品名	種別
000001	にんじん	野菜
.000002 \$	玉ねぎ	野菜
000003	じゃがいも	野菜
	:	:
001001	牛肉	肉
001002	羊肉	肉
STATE OF THE STATE	:	:

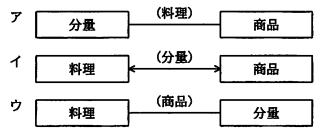
分量表

为 料理 ID ?	《簡品ID···	分量
0001	[†] 000001	中1本
0001	≥ 000002 ⊅	中3個
े 0001	001001	200 グラム
		:

図1 表の構成

設問1 データベースを設計するに当たって、エンティティの関係を表すE-R図を作成した。図1の構成におけるE-R図を、解答群の中から選べ。

解答群



設問2 図1の表は、料理ごとに作り方、使用する商品(食材)とその分量を記入して 作成したレシピの表を正規化して得られたものである。データベース設計におけ る第1正規化に基づいて実施した処置を、解答群の中から選べ。

解答群

- ア 実行性能の向上を図り、料理表と分量表に分けた。
- イ 主キーを一意にするため、料理名に料理 ID を割り振った。
- ウ 商品とその分量という繰返しの要素を排除した。
- エ 情報の独立性を高めるため、商品名に商品 ID を割り振った。

設問 3	野菜売場の端末で来店客が好みの野菜を一つ選択したときに、その野菜を使用
Ş	する料理名をすべて抽出して表示したい。来店客が"じゃがいも"を選択した場
É	合,次の SQL 文の に入れる正しい答えを,解答群の中から選べ。
S	ELECT 料理表.料理名 FROM 料理表,分量表,商品表 WHERE

解答群

- ア 料理表.料理ID = (SELECT 分量表.料理ID FROM 分量表, 商品表 WHERE 商品表.商品名 = 'じゃがいも')
- イ 料理表.料理ID = 分量表.料理ID AND 分量表.商品ID = 商品表.商品ID AND 商品表.商品名 = 'じゃがいも'
- ウ 料理表.料理ID = 分量表.料理ID AND 分量表.商品ID = 商品表.商品ID = 商品表.商品ID = 商品表.商品A = 'じゃがいも'
- エ 料理表.料理ID IN (SELECT 分量表.料理ID FROM 分量表,商品表 WHERE 商品表.商品名 = 'じゃがいも')

に入れる正しい答えを,解答群の中から選べ。

商品表			
商品ID	商品名	種別	在庫
000001	にんじん	野菜	1
000002	玉ねぎ	野菜	1
1000003	じゃがいも	野菜	1
	i	:	:
0010012	牛肉	肉	1
001002	羊肉	肉	0
1	:	:	:

図2 変更した商品表

SELECT 料理表.料理名 FROM 料理表

JOIN 分量表 ON 料理表.料理ID = 分量表.料理ID

JOIN 商品表 ON 分量表.商品ID = 商品表.商品ID

WHERE

解答群

- ア 商品表.在庫!= 0 AND 商品表.商品名 = 'じゃがいも'
- イ 商品表.在庫!= 0 OR 商品表.商品名 = 'じゃがいも'
- ウ 料理表.料理ID IN

(SELECT 分量表、料理ID FROM 分量表 JOIN 商品表 ON 分量表.商品ID = 商品表.商品ID WHERE 商品表.在庫 = 0) AND 商品表.商品名 = 'じゃがいも'

工 料理表.料理ID NOT IN

(SELECT 分量表.料理ID FROM 分量表 JOIN 商品表 ON 分量表.商品ID = 商品表.商品ID WHERE 商品表.在庫 = 0) AND 商品表.商品名 = 'じゃがいも'